



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月13日

上場会社名 アプライド

上場取引所 東

コード番号 3020 URL <http://www.applied-g.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 岡 義治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 南木 眞也

TEL 092-481-7801

四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日

配当支払開始予定日

平成30年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	13,907	5.9	520	9.5	523	11.3	344	18.7
30年3月期第2四半期	14,783	1.8	475	3.5	470	4.4	290	12.0

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 349百万円 (20.7%) 30年3月期第2四半期 289百万円 (12.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	135.67	
30年3月期第2四半期	114.33	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	15,212	5,278	34.3
30年3月期	15,025	4,992	32.7

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 5,220百万円 30年3月期 4,915百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		15.00		25.00	40.00
31年3月期		15.00			
31年3月期(予想)				25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	2.3	1,180	1.8	1,180	2.1	835	0.6	329.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	2,703,200 株	30年3月期	2,703,200 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	157,742 株	30年3月期	165,452 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	2,538,927 株	30年3月期2Q	2,537,758 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益を背景とする設備投資や雇用情勢の改善等により、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国の通商政策や海外経済の不確実性などの影響が懸念されており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、専門店としての強みを活かした営業展開を図り、ハードとサービスを融合した仕組みの販売を重点項目に置き、顧客増大と利益創出を推進いたしました。

店舗展開におきましては、パソコン専門店「アプライド」26店舗、テレビゲーム専門店「シータショップ」を4店舗、化粧品・雑貨専門店「ハウズ」5店舗を運営し、品揃え、サービスに専門性を追求し、差別化を図りました。

大学、官公庁向けの販売を主体とするS I営業では、22営業拠点を展開し、人員増強を図り、技術力を活かした高性能なプライベートブランド製品及びサービスを軸に、ソリューション営業を推進いたしました。

B to B販売を中心とした特機営業では、岡山、静岡営業所を開設し、拠点数の増大による販路拡大に加え、独自システムを活かした顧客の囲い込みを推進し、売上の増大を図りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間による売上高は139億7百万円（前年同期比5.9%減）、利益面におきましては、営業利益5億20百万円（前年同期比9.5%増）、経常利益は5億23百万円（前年同期比11.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億44百万円（前年同期比18.7%増）となりました。

セグメント別の売上高は次のとおりです。

- ①パソコン・ゲーム事業は、パソコンの大型専門店「アプライド一宮店」を6月30日にオープンしました。専門店としての商品及びシステム・サービスの提供を行うことにより、他社との差別化を推進し、売上高は118億3百万円（前年同期比9.7%減）となりました。
- ②化粧品・雑貨事業は、雑貨専門店「ハウズひびきの店」を9月22日にオープンしました。大型店舗による店舗販売の強化を行い、プライベートブランド商品の投入や差別化商品を中心とした品揃えの充実を図り、売上高は19億1百万円（前年同期比23.4%増）となりました。
- ③出版・広告事業は、紙媒体に加え、デジタルを活かした送客システムやイベントの開催などを通して、顧客の増大を図り、売上高は2億2百万円（前年同期比18.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億86百万円増加し、152億12百万円となりました。これは主に、「アプライド一宮店」と「ハウズひびきの店」の新規出店等により有形固定資産が3億54百万円増加し、前連結会計年度末の法人売上伸長にて増加した受取手形及び売掛金を当第2四半期連結累計期間で回収したことにより、受取手形及び売掛金が2億6百万円減少したためです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ99百万円減少し、99億33百万円となりました。これは主に、キャッシュ・フロー改善に取り組んだ結果増加した資金で借入金の約定返済を進めたことにより1年内返済予定長期借入金が1億14百万円及び長期借入金が3億85百万円減少し、支払手形及び買掛金が3億90百万円増加したためです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ2億85百万円増加し、52億78百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加2億81百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、34.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね予想通りに推移しており、現時点では、平成30年5月14日に公表いたしました通期の業績予想から修正を行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,136	1,022
受取手形及び売掛金	6,511	6,305
商品及び製品	1,300	1,565
仕掛品	2	2
原材料及び貯蔵品	6	9
その他	156	106
貸倒引当金	△127	△170
流動資産合計	8,985	8,841
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,768	2,263
土地	2,831	2,831
その他(純額)	279	138
有形固定資産合計	4,879	5,233
無形固定資産	78	70
投資その他の資産		
敷金及び保証金	686	667
その他	396	400
投資その他の資産合計	1,082	1,067
固定資産合計	6,040	6,371
資産合計	15,025	15,212

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,205	2,595
短期借入金	1,350	1,350
1年内返済予定の長期借入金	912	797
未払法人税等	277	201
賞与引当金	154	163
ポイント引当金	63	52
その他	1,310	1,400
流動負債合計	6,274	6,561
固定負債		
長期借入金	3,230	2,844
長期未払金	402	402
退職給付に係る負債	118	117
その他	7	7
固定負債合計	3,758	3,372
負債合計	10,033	9,933
純資産の部		
株主資本		
資本金	381	381
資本剰余金	406	426
利益剰余金	4,219	4,500
自己株式	△92	△87
株主資本合計	4,915	5,220
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	△0	△0
非支配株主持分	77	57
純資産合計	4,992	5,278
負債純資産合計	15,025	15,212

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	14,783	13,907
売上原価	11,261	10,237
売上総利益	3,521	3,669
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	308	340
販売促進費	134	114
ポイント引当金繰入額	47	34
給料及び手当	915	909
賞与引当金繰入額	136	158
賃借料	360	369
その他	1,143	1,220
販売費及び一般管理費合計	3,046	3,149
営業利益	475	520
営業外収益		
受取利息	2	1
受取手数料	5	4
協賛金収入	4	4
受取賃貸料	2	8
その他	2	1
営業外収益合計	16	21
営業外費用		
支払利息	17	16
その他	3	1
営業外費用合計	20	17
経常利益	470	523
税金等調整前四半期純利益	470	523
法人税、住民税及び事業税	173	181
法人税等調整額	7	△7
法人税等合計	181	174
四半期純利益	289	349
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	290	344

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	289	349
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
その他の包括利益合計	△0	△0
四半期包括利益	289	349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	290	344
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。